

---

# アプリケーション理解

Excel VBA

---

---

## 【目次】

集計業務をマクロにしてみる.....	3
クラスデータをコピーする.....	3
絞り込んだデータを印刷するマクロ.....	3
マクロを実行してみよう.....	5
今の手順で改造しよう.....	6

## 集計業務をマクロにしてみる

今回は、ユーザーフォームを離れて、シートのデータを集計するマクロを作ってみましょう。

### クラスデータをコピーする

教材配布から、1クラス50人でA組、B組、C組の3クラス分の国語、数学、理科、社会、英語のテスト結果が入ったファイル（ダミークラスデータ.xlsx）をコピーしてください。

このデータの集計を手動ではなく、マクロにする練習をします。

### 絞り込んだデータを印刷するマクロ

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
	クラス	番号	氏名	国語	数学	理科	社会	英語	合計
	A	1	加納 次男	53	76	52	73	40	294
	A	2	小高 泰佑	99	50	52	61	71	333
	A	3	樋口 小晴	62	67	63	49	53	294
	A	4	武内 怜	79	59	69	42	71	320
	A	5	藤本 佐和	83	53	96	80	97	409
	A	6	西本 匠	95	86	48	77	54	360

データは上図のような内容です。

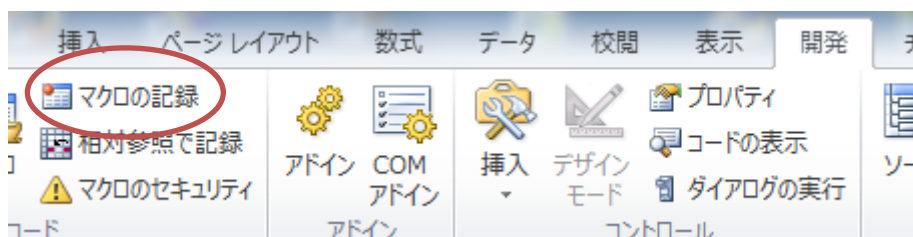
クラスはA,B,Cがあり、それぞれ50人のデータが入っています。

では、このデータからAクラスだけを抽出して、印刷するマクロを作りましょう。

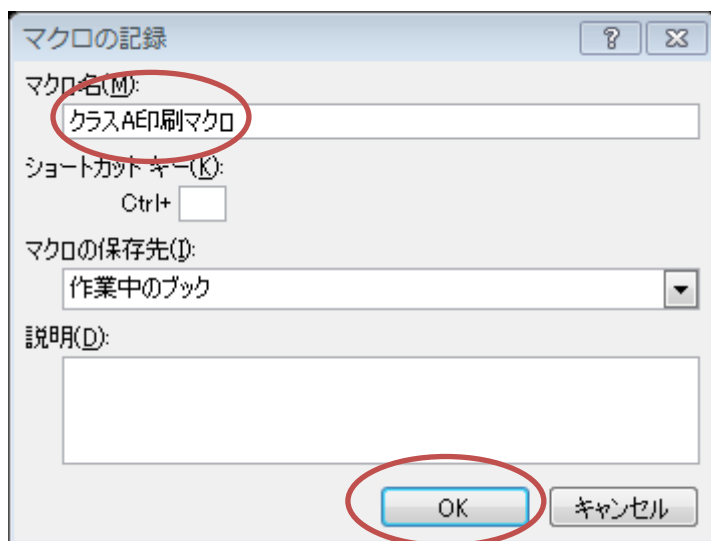
	A	B	C	D
	クラス	番号	氏名	国語
	A	1	加納 次男	53

A1のセルを選択します。

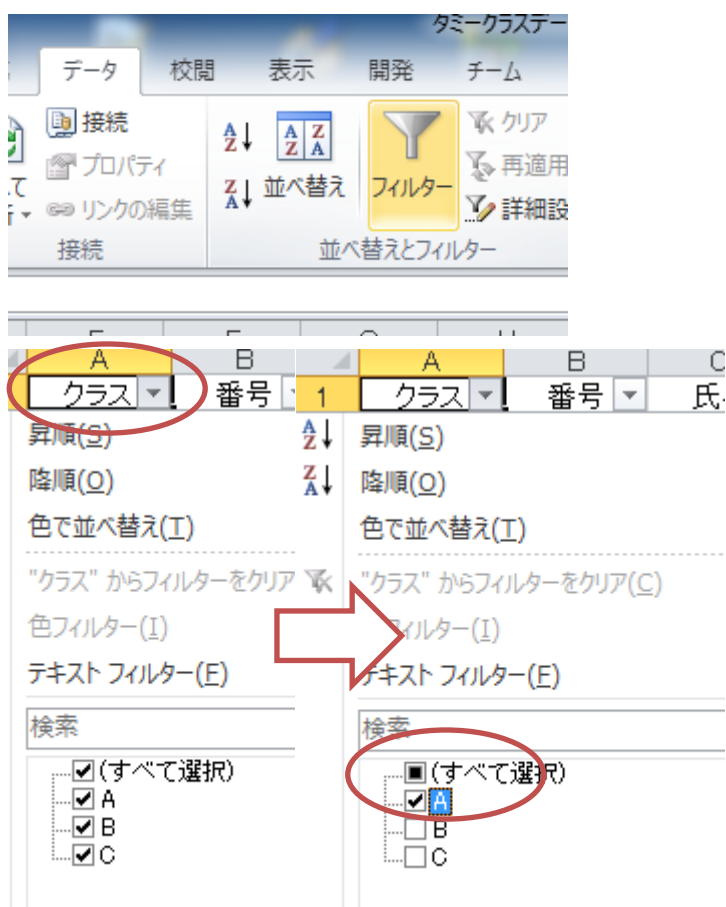
マクロの登録を開始します



マクロの記録のダイアログがあるので、マクロ名に「クラス A 印刷マクロ」と入力して OK を押す。

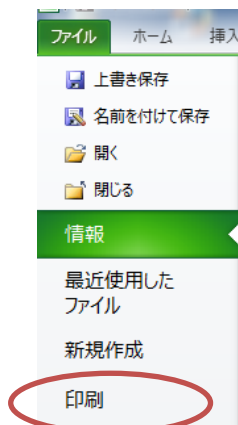


データタグを開いて、フィルターを押します。



クラスのフィルターを開いて、すべて選択を押してから、A だけチェックを入れます。名前の列が足りないのを少し広げておきます。

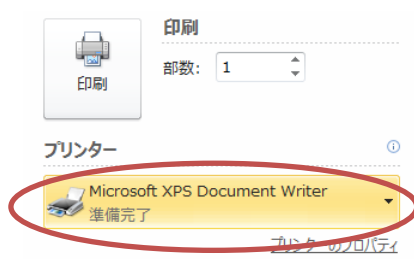
ファイルタブから印刷を選びます。



プレビューが出るので、そこで名前が全員でているか確認します。

現在プリンタがないので印刷はできませんので、プリンターを「Microsoft XPS Document Writer」を選択して、ファイル名をkadai14.xpsとして保存します。

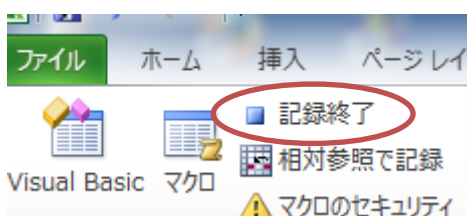
ただし、このファイル名はマクロには保存されませんので、マクロで実行するときはもう一度、名前を入力してください。



クラス	番号	氏名	国語	数学	理科	社会	英語	合計
A	1	加納 次男	53	76	52	73	40	294
A	2	小高 孝俊	99	50	52	61	71	333
A	3	樋口 小健	62	67	63	49	53	294
A	4	武内 裕	79	59	69	42	71	320
A	5	森本 佐和	83	53	96	80	97	409
A	6	西本 匠	95	86	48	77	54	360
A	7	岩崎 由起	87	54	51	42	75	308
A	8	永山 杏奈	78	78	65	56	69	346
A	9	竹内 清人	49	67	66	64	67	313
A	10	沖 光枝	76	76	58	47	57	314
A	11	田原 大	74	75	77	55	78	359

データタブのフィルタを再度クリックして、絞り込みを終了します。

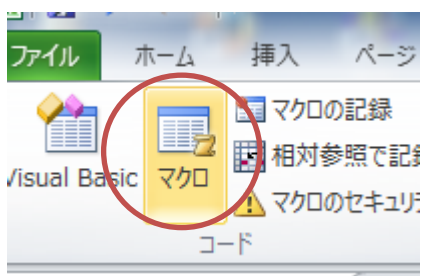
これで登録用の作業は終了なので、開発タブをクリックして、記録終了をクリックします。



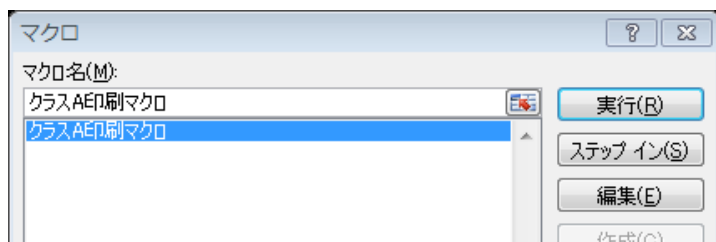
## マクロを実行してみよう

では、今登録したマクロを実行してみましよう。

開発タブのマクロアイコンをクリックします。



するとマク選択画面がでるので、クラス A 印刷マクロをクリックして、実行を押します。



すると画面が消えて印刷のファイル名入力になりますので、ここで適当な名前を入力してください。

実行が終わったら、今保存した xps ファイルをマイドキュメントから探して、ダブルクリックしましょう。指定した内容が表示されれば OK です

### || 今の手順で改造しよう

では、課題です

A:今と同じ手順でクラス B とクラス C を作りなさい

B:各クラスの合計点の多い方から 10 名だけの印刷をするマクロを作りなさい